

共同利用施設の再編集約・合理化に関する事例【園芸作物、九州農政局】

福岡県 福岡八女農業協同組合（新基本計画実装・農業構造転換支援事業：R8～R9）

- 既存のなす広域選果場において、最新型の選果カメラ・システムを導入し品質の高位平準化を図るとともに、1,100mm×1,100mmパレットに対応したロボットパレタイザーの導入及び既存予措庫に冷蔵機能を整備し、出荷・物流作業面での合理化を図る。
- 品質の高位平準化や生産者の労力軽減によって、品質安定・単価向上を図る。

現状・課題並びに再編集約等の内容

【産地の現状・課題】

- 旧式の選果カメラやシステムでは、等階級評価の精度が低く、製品の品質にバラつきが生じているため、**選果機の機能向上が課題**。
- 冷蔵機能を持つ製品予措庫が無く、高温等による傷みが発生しているため、**製品の適温管理が課題**。
- 生産者や職員による製品の梱包作業やトラックの積み下ろし作業に長時間を要しているため、**出荷資材の削減及び荷役作業の省力化が課題**。

【合理化の内容】

- 既存の選果カメラ・システムを最新型のものに更新し機能向上を図る。
- 冷蔵機能を備えた空調設備を導入する。
- ロボットパレタイザー及び結束が不要な包装機を導入する。



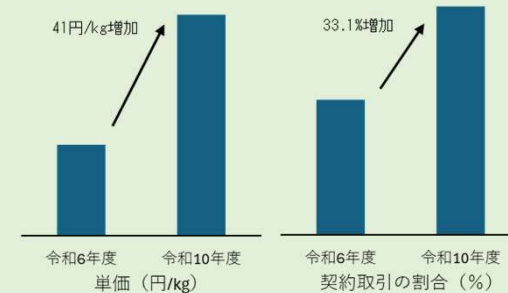
【包装機】



【ロボットパレタイザー】

再編集約・合理化等で期待される効果

- なすの外観評価の精度向上と品質管理の徹底による**品質の高位平準化**と、出荷資材の削減による環境負荷の低減に取り組むことで、取引先が要望する多様な規格に対応し、**単価向上・契約取引増**に繋げる。
- 生産者の選果・出荷に係る**労力負担を軽減**し、栽培管理への更なる注力を可能とすることで、生産物の**品質の安定・単価向上**を促し、取引先要望に応じた**契約取引増**が期待できる。



他産地へのメッセージ

- 運営や物流の効率化はもとより、本施設の整備が生産者の営農継続・所得向上や「博多なす」のブランド向上に寄与するものとなるよう、産地の理想を具体的にイメージしながら合理化計画を策定した。
- 生産者の意向を把握し、令和4年からJAと部会で綿密な協議を重ねながら、現状の課題や施設の今後の在り方を生産者と共有できたことが、円滑な合意形成や事業申請に繋がった。